

修士論文一覧

2016年度修了者（116名）

哲学

権力と歴史	小寺隼豊
現存在と存在論	匂坂亮
レヴィナスにおける「分離」の問題	丹羽哲理

東洋哲学

『南方録』における仏教思想	櫻本香織
『宝性論』における法身と智	柴田寛敬
李陽冰の「刊定説文」とその思想	関俊史
范曄『後漢書』と六朝時代の歴史思想	袴田郁一
『今昔物語集』における生死と鬼神	崔鵬偉
中国小説の成立についての思想史的研究	西念咲和希

心理学

支援的コミュニティ形成のために、コミュニティ構成員に求められる要件について	能松知浩
階層モデリングと残差分析を用いた優良顧客の発見手法の提案	磯部友莉恵
日本語版大学生用 SNS 中毒傾向尺度の作成	申ボラム
アカデミック・ハラスメント被害における対処行動とその規定因についての検討	関根彩夏
身体機能に関わる動作感覚についての基礎的研究	瀧川諒子
カスケード故障モデルを用いた商品ネットワーク分析	長尾圭一郎
多属性意思決定における意思決定方略の認知的処理の検討	原口僚平
動作間の連動性に関する基礎的研究	辺睿
漢字熟語のファミリーサイズ効果と語長効果	水越陸太

修士論文一覧

社会学

- 「心の専門家」の制度的展開……………酒井宏明
「信頼社会」構想の再検討とその可能性の探求……………池谷翼
日中国際結婚に見る中国人女性の就労と子育ての葛藤……………シュウシン
アクティブラーニングによる学習成果の規定要因……………関戸智大
中国北京市における「初代一人っ子親世代」の扶養・介護問題に関する考察…陳懂懂

教育学

- 中国高等教育システムにおける重点大学の役割……………田稼之
現代社会の道徳と教育……………町田恭平
四環遊戯グループ（北京市）の意義と課題……………オウソウ
市民形成の視点からみるフランスの移民教育の意義と課題……………原岡蓉子

日本語日本文学

- 江藤淳の批評原理——戦後の日本思想……………奥貫佑麻
其角とその門弟・知友の恋句……………青柳美帆子
万葉集 東歌の修辞表現……………甲斐温子
岡本かの子論……………住本麻子
『おあむ物語』から見た江戸時代の表記……………新田祥絵
三島由紀夫論……………日野栄仁
国分青厓の基礎的研究……………松葉友惟
開高健の方法論……………山田宗史
『百人一首』の女性歌人について……………劉燦
独歩文学の方法……………芦川貴之
平安末期小私家集の研究……………穴井潤
初期村山知義論……………池澤ゆき
日本語の補助符号について……………石原知弥
『万葉集』の露 ～中国文学の受容とその発展～……………オウモキ
ソ系接続表現の変遷……………大久保歩美

『扶桑集』注釈と考察	川村卓也
初期川端康成論	堺雄輝
昭和初期谷崎潤一郎論	清水智史
三島由紀夫研究	陣野真実
太宰治戦後作品論	隅田由貴子
初期江戸川乱歩論	千代田拓弥
平安時代の短編物語における方法	長尾崇
谷崎潤一郎論	福島はなこ
内田百閒論	松延美伽
ファッション雑誌の広告表現に関する日中対照研究	羅蘊琦

フランス語フランス文学

トリスタン・ツァラにおける「近似」の概念	伊藤琢麻
20世紀における美容文化史の日仏比較	小笠原駿
アンリ・ミショーにおける言語とイメージの問題	瀬尾周平
マリー・ンディアイの作品における家族崩壊	安田崇真子

ドイツ語ドイツ文学

それは直線にすぎず、物語の空間はうまらなかった。	徳永けい
アルトゥール・シュニツラーの北方のエキゾチズム	徳永菜摘野
レオ・ペルッツの短篇小説	仁科裕成

ロシア語ロシア文化

ジナイーダ・ギッピウス研究	内川晶子
---------------	------

中国語中国文学

子ども達の読書傾向から見る中国児童文学のいま	長岡悠子
原采蘋漢詩研究	柯明
陳独秀の旧詩研究	郭濟飛

修士論文一覧

中国古典詩における「氷」の表現……………前 田 量 子

演劇映像学

近世後期の〈松羽目物〉研究……………青 木 亜里砂

現代ダンスにおける多言語使用：

笠井勲、エマニュエル・ユイン『シュピール』（2011-2013）を例に……………呉 宮 百合香

ラヴロフスキー版《ロミオとジュリエット》作品研究……………大 峯 陽 子

ジョン・ノイマイヤー振付『クリスマス・オラトリオ』に見るテキストの多層性

……………近 藤 つぐみ

撮影所システム衰退期における三隅研次研究……………數 藤 友 亮

道成寺物研究……………馬 翹

美術史学

近世の能面模作に関する一考察……………大 谷 優 紀

『バリー公のいとも豪華なる時禱書』における「死者のための聖務日課」挿絵について

……………白 川 衿 子

松本交山研究……………宮 田 悠 衣

忍性骨蔵器における諸問題……………大 内 直 輝

横山操研究……………工 藤 優 衣

タイ「地獄寺」に関する一考察……………椋 橋 彩 香

中国魏晋南北朝墓出土鏡に関する考察……………斉 藤 汐 里

ティムール朝における中国絵画受容……………本 間 美 紀

日本史学

中世前期における女性の政治活動と家族……………オンサクル シラス

近世における朝廷と畿内寺院の交流……………近 藤 絢 音

東国武士と中世社会……………日向寺 朋 子

明治前期の府県庁舎営繕……………袁 甲 幸

疫神祭の総合的研究……………菊 地 拓 也

末法意識の研究……………関 朔太郎

昭和初期におけるサラリーマンと会社との関係について	秦	文	憲
金毘羅参詣の隆盛と瀬戸内地域の観光地化	武	藤	隼

東洋史学

植民地期朝鮮の教育に見る日本神話と檀君神話の相克	阿	部	智	里
清代前期の黒竜江地域における「為奴遣犯」について	王		炳	卉
乾隆期における孔府弾圧とその歴史的意義	孔			明
シリア正教徒／スルヤーンのディアスポラの言論空間に於ける「祖国」と「ネーション」				
.....	阪	本	侑	己
北宋期外国人僧侶の紫衣と師號の下賜について	阮		未	央
開封から太原まで：北宋滅亡前夜における政局と戦局	鄒			笛
西魏・北周における仏教造像活動と村落構造	山	下	友	里
			恵	

西洋史学

フランス1889年徴兵制制定とその議論	奥	村	広	太
アルビジョワ十字軍開始前後における教皇特使の活動と地域諸権力	黒	澤	正	樹
ヒルデガルド・フォン・ビンゲン像の再構築	高	柳	さ	おり
シトー会修道院と地域権力	矢	野	夏	樹

考古学

日本出土埴仏における同原型資料の再検討	福	岡	佑	斗
旧石器集団の領域	渡	邊		玲
古墳時代後・終末期における古墳副葬鏃の装着方法	青	笹	基	史
杉久保系石器群の多様性に関する一考察	佐	藤	悠	登
エジプト中王国時代の装身具研究	山	崎	世	理
			愛	

表象・メディア論

サミュエル・ベケット Endgame 論	朴		夏	辰
ポール・オースター In the Country of Last Things 論	樋	口	彩	子

修士論文一覧

- 日本近代における写真アルバムの研究……………安 田 和 弘
『差異と反復』の理念とフランス哲学史におけるドイツ観念論受容について……………浅 野 修 平
シュヴァンクマイエルの映画におけるアナロジーの魔術……………田 村 晨一郎
Samuel Beckett Krapp's Last Tape 論……………渡 邊 時 生

現代文芸

- Howard Norman “The Northern Lights” (1987) の翻訳と注釈……………川 野 太 郎
Nicholson Baker “U and I: A True Story” の翻訳と註釈と考察……………有 好 宏 文
Willy Vlautin 作品の翻訳および研究……………片 野 雄 太 郎
ヴェレーナ・シュテファン『脱皮』の翻訳と考察……………近 藤 未 佳
語り手はどこにいるのか……………田 中 諒
戦後私小説論……………前 田 健 太
近代フランス文学と日本文学に見るカフェの表象……………山 内 瑛 生
クイア・フェミニズム批評と／あるいは文芸批評……………豊 彩 夏